

LC2A 天吊り用金具 取扱説明書

-----37 ~ 70V 型で、重量 59kg 以下のフラットテレビを最大 2 台吊り下げるのに適用 -----

このたびは、MC1A のフラットテレビ天吊り用金具を、お買い上げいただきましてありがとうございます。
LC2A は、+5° - 15° の上下方向の視野角調整と、更に ±90° の首振り調整、及び ±6° の水平調整する事が出来ます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。
販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

液晶テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。
表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。

 **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。

 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

警告

 工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。

 取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。

 荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。
強度の弱い天井に取り付けると、落下してけがの原因になります。
天井の強度は少なくともフラットテレビの重量の 4 倍の強度に耐える場所が必要です。

警告



禁止

LC2A 天吊り用金具は、37～70V 型以下で総重量 59kg 以下のフラットテレビを、最大 2 台、天井のパイプに吊り下げて固定するものです。

70V 型以上、59kg 以上のフラットテレビの取付には、絶対使用しないで下さい。
この指定を守らないと、フラットテレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となります。



禁止

湿気やほこりの多いところや、油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。

又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。
テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。

ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。

指定を守らないと、テレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は、2人以上で行って下さい。

テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



取付金具を組み立てたり、取付に使用するネジは、下記の部品表に記載してありますが、不適合な場合がある時は、市販の適切なネジを使って下さい。

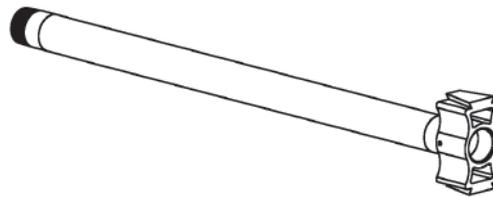
2. 部品一覧表

梱包を開梱し、組み立てる前に次の A 図及び B 図の部品名と現品の形を確認しておいて下さい。

A 図



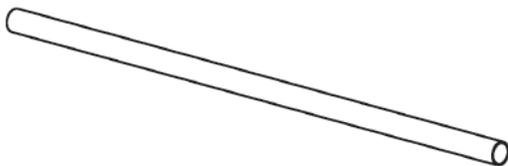
(A) パイプカップラー……1コ



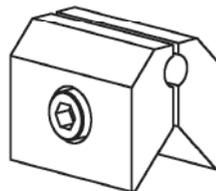
(B) 吊り下げパイプ……1コ



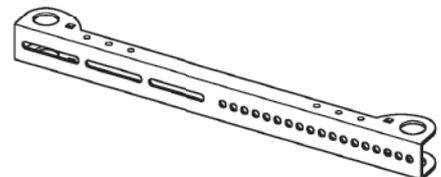
(C) アセンブリー……2コ



(D) 25mm 径棒……4コ



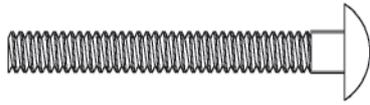
(E) 締め付け部品……8コ



(F) モニターブラケット……4コ

部材一覧表つづき

B 図



(G) 1/4-20*2 インチネジ 8 コ (H) 1/4-20 インチナット 8 コ (I) 保護ネジ 2 コ (J) 1/4-20 セットネジ 2 コ

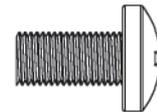
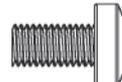


(K) ワイヤータイ 10 コ

(L) 1/8 インチ六角レンチ 1 コ

(N) 3/16 インチ六角レンチ 1 コ

(M) 5/32 インチ六角レンチ 1 コ



(O) M4x12 ネジ 8 コ

(P) M5x12 ネジ 8 コ

(Q) M6x12 ネジ 8 コ

(R) M8x16 ネジ 8 コ



(S) M4x30 ネジ 8 コ

(T) M5x30 ネジ 8 コ

(U) M6x35 ネジ 8 コ

(V) M8x40 ネジ 8 コ

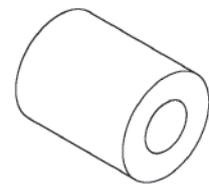
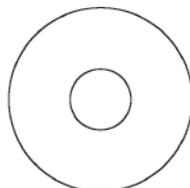
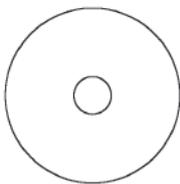


(W) M4 ロックワッシャー 8 コ

(X) M5 ロックワッシャー 8 コ

(Y) M6 ロックワッシャー 8 コ

(Z) M8 ロックワッシャー 8 コ



(AA) M4/M5 ワッシャー 16 コ

(BB) M6 ワッシャー 8 コ

(CC) M4/M5 スペーサー 8 コ

(DD) M6/ スペーサー 8 コ

3 組み立てかた

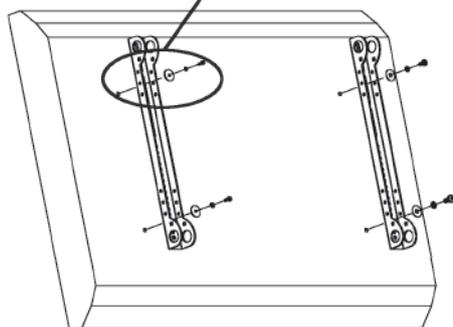
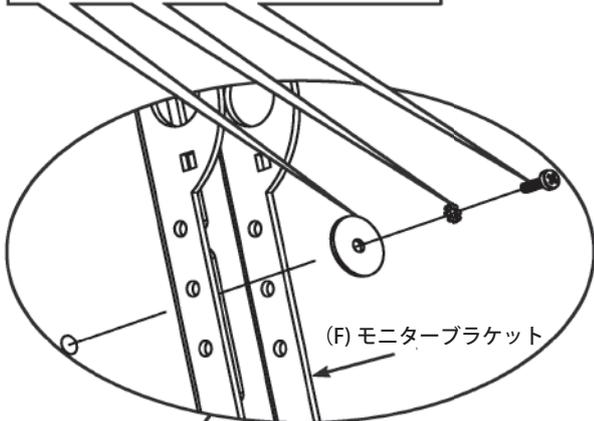
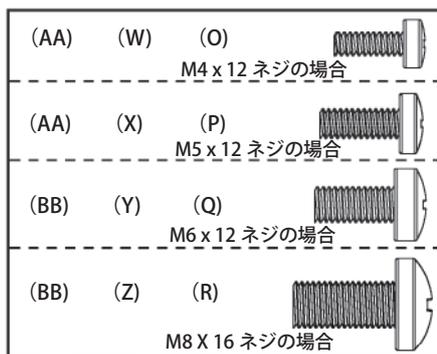
組立の説明は、1台のフラットテレビについて書いていますが、2台目のフラットテレビの取付の場合も、同様の組立をして下さい。

1 フラットテレビにモニターブラケットを取り付ける

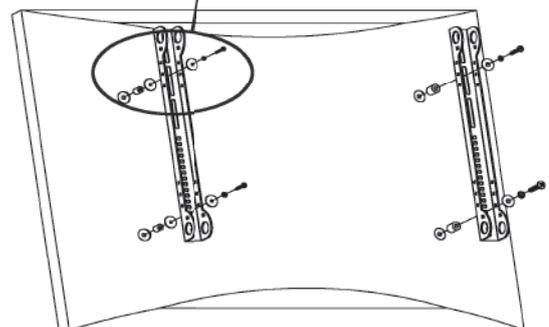
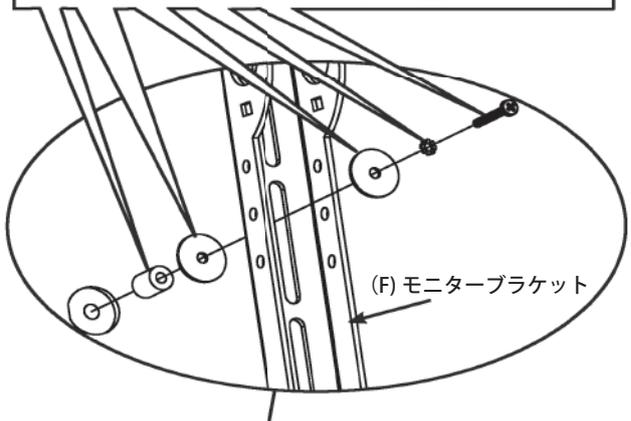
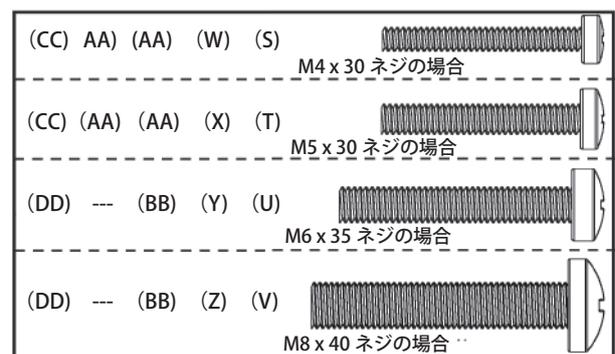
フラットテレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を確認して下さい。

- (1) フラットテレビの背面が平坦な場合は C 図を参照して下さい。
フラットテレビの背面が曲線状か、又は取付用ネジ部分にくぼみのある場合は、D 図を参照します。
- (2) フラットテレビを壁等のしっかりした場所に置きます。
フラットテレビのガラス面にキズが付くので、ガラス面を下にして床などに置かないで下さい。
- (3) フラットテレビの背面に取り付けるモニターブラケット (F) の場所を見つけ、そのネジ穴の径を調べます。
M4 ネジ (O)、M5 ネジ (P)、M6 ネジ (Q)、M8 ネジ (R) を順番に手で緩くねじ込んで、適合するネジの径を見つけます。
もし、手でネジをねじ込んでいる時に、ネジの先端が何かにぶつかった様感じた時は、直ちにそれ以上ネジ込むのは止めて下さい。
- (4) 先に調べたネジの径により、背面が平坦な場合は、C 図の様に、取り付けネジ (O)、(P)、(Q)、(R) と、ロックワッシャー (W)、(X)、(Y)、(Z) と、ワッシャー (AA)、(BB) を使って、フラットテレビにモニターブラケット (F) をしっかりと取り付けます。
- (5) フラットテレビの背面が曲線状か、又は取り付けネジ部分にくぼみのある場合は、D 図のように、M4 ネジの時 (S)、M5 ネジの時 (T)、M6 ネジの時 (U)、M8 ネジの時 (V) と、ロックワッシャー (W)、(X)、(Y)、(Z) と、ワッシャー (AA)、(BB) と、更にスペーサー (CC)、(DD)、を使ってフラットテレビにモニターブラケット (F) をしっかりと取り付けます。

C 図 (背面が平坦なテレビの場合)

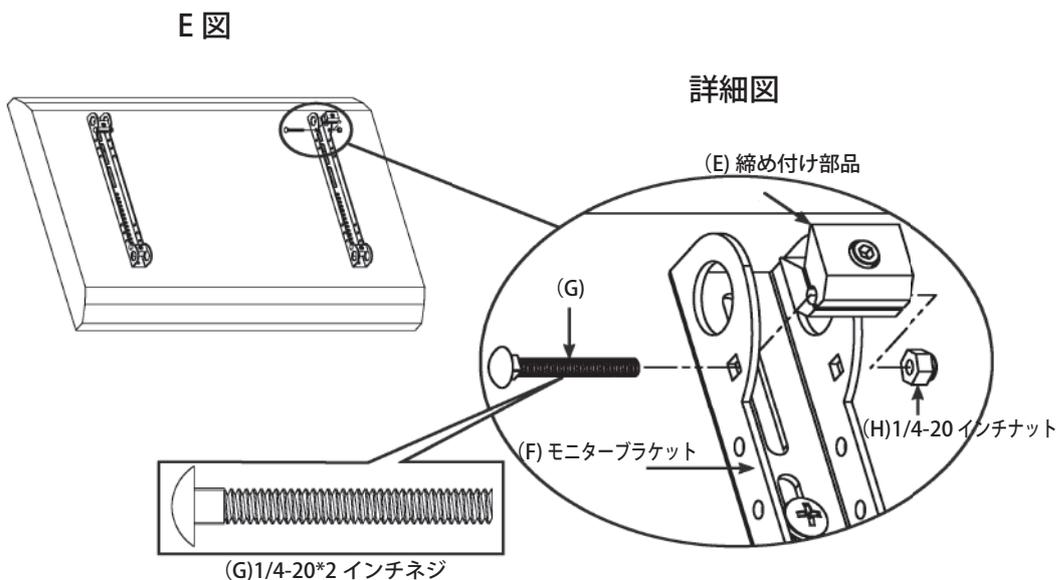


D 図 (背面が曲線状か取り付けネジ部分にくぼみのある場合)



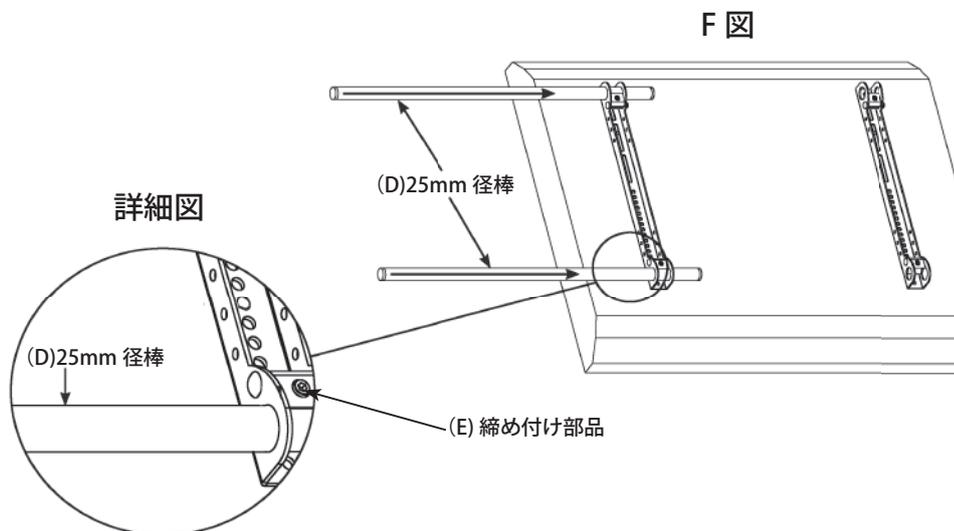
2 締め付け部品のブラケットへの取り付け

- (1) 締め付け部品 (E) のワニ口形状を、25mm 径棒の挿入される丸穴の方向に向け、更にそこに埋め込んであるボルトをテレビと反対側（手前側）を向くようにして、E 図の様にモニターブラケット (F) の二つの棧の間に置きます。
- (2) 1/4-20*2 インチネジ (G) を、詳細図の様にモニターブラケット (F) の横面に開いている角形の穴から、締め付け部品 (E) の穴を貫通させて、モニターブラケットの反対側の側面の穴に通します。
- (3) 1/4-20 インチナット (H) で、上記の 1/4-20*2 インチネジ (G) を締め付けます。しかし、過度に締め付けないで、締め付け部品 (E) がネジの周りで自由に動く程度に、余裕を持たせて締め付けます。
- (4) 同様の作業をモニターブラケットの下側の穴についても行き、続いて他のモニターブラケットにも同様の作業を行います。



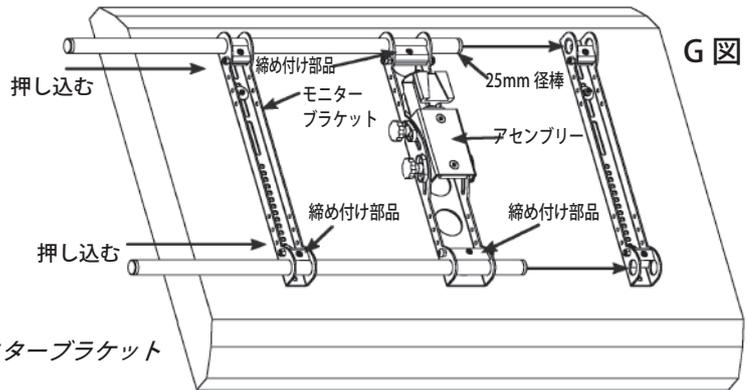
3 25mm 径棒をモニターブラケットに取り付ける

- (1) まず F 図の様に、25mm 径棒 (D) を、モニターブラケット (F) の上側の 25mm 穴の方向に向けて配置します。
この時、2 項で取り付けした締め付け部品のワニ口形状した部分は、25mm 穴の方向になっている事を確認して下さい。
- (2) 25mm 径棒 (D) をモニターブラケット (F) の一方の 25mm 穴から押し込み、締め付け部品 (E) のワニ口形状の間に挿入して、このモニターブラケットのもう一方の 25mm 穴から出します。
この組み立ての状況は、丁度 F 図の様になります。この図以上に 25mm 径棒を挿入しないで下さい。
- (3) 次に、同じモニターブラケット (F) の下側の穴についても、25mm 径棒を上記と同様に挿入します。



3 25mm 径棒をモニターブラケットに取り付けるのつづき

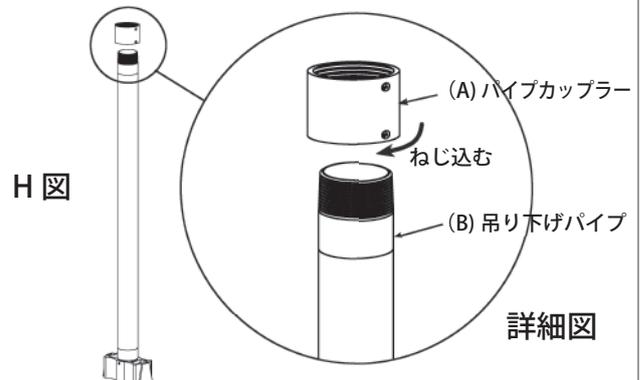
- (4) アセンブリー (C) を、G 図の様に平坦な面をフラットテレビの背面に向けて、左右二つのモニターブラケット (F) の中間に配置します。この時、アセンブリー (C) の台形状のテーパ金具の広く開いた方は、フラットテレビの下方に向けてください。
- (5) アセンブリー (C) の両端 (上下) に付いている大きなワニ口形状した部分を各々 25mm の丸穴の方向に向けて下さい。
- (6) 前項でモニターブラケット (F) に挿入した 2 本の 25mm 径棒 (D) を、更に押し込んでアセンブリー (C) の 25mm 丸穴に貫通させます。
- (7) これらの二本の 25mm 径棒を更に押し込んで、締め付け金具のワニ口部分を貫通させてから、テレビの反対側に取り付いているモニターブラケット (F) の 25mm 丸穴にも貫通させます。
- (8) 二本の 25mm 径棒が全ての 25mm 穴に貫通したら、各ブラケットのワニ口形状した部分が、正しく 25mm 径棒の方向に向いている事を再確認して下さい。
- (9) 二本の 25mm 径棒が、左右のモニターブラケット (F) から等しく出っ張る様に調整してから、このモニターブラケットに取り付けた合計 4 コの締め付け部品 (E) の各ボルトを 3/16 インチの六角レンチ (N) で適度に締め付けて下さい。この時の締め付ける強度は、六角レンチを廻して、少し抵抗を感じたら締め付けるのを一旦止めて、その位置から 1.5 回転だけ締め付けます。
- (10) 次に、アセンブリー (C) を 25mm 径棒の上で、二つのモニターブラケットの中間点にスライドさせた後、アセンブリーの両端にある 2 コのワニ口形状した大きな締め付け部品の各ボルトを六角レンチで (9) と同様の強度で締め付けて下さい。
- (11) 上記の、ワニ口形状した締め付け部品の合計 6 ヶ所のボルトの固定は、安全上大変重要なので、しっかりと確実に締め付けられている事を再確認して下さい。



注意：危険防止のため、25mm 径棒は、必ずモニターブラケットの両側面の 25mm 穴に確実に貫通させます

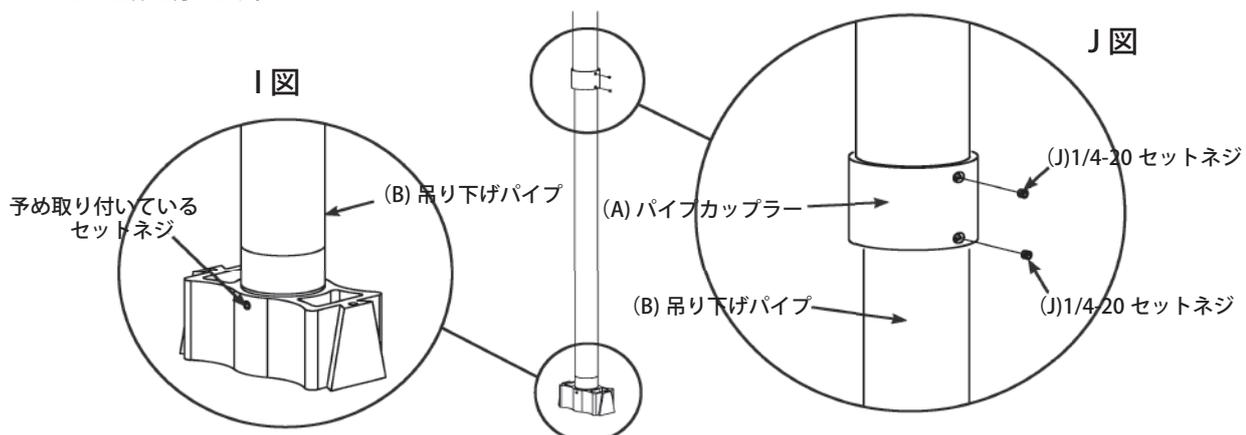
4 吊り下げパイプにパイプカップラーを取り付ける

- (1) 吊り下げパイプ (B) に、パイプカップラー (A) をいっぱいねじ込みます。



5 吊り下げパイプを既存のパイプに取り付ける

- (1) パイプカップラー (A) の取り付けられている吊り下げパイプ (B) を、既存 (既設) のねじの切ったパイプに、ねじ込んで繋ぎます。
- (2) I 図のように、吊り下げパイプ (B) の取り付け方を調整してから、示す吊り下げパイプ下部の取り付け部に付随している 2 コのネジを 5/32 六角レンチ (M) で、又 J 図のパイプカップラー (A) 部には、2 コの 1/4-20 セットネジ (J) を 1/8 インチ六角レンチ (L) で、しっかりと締め付けます。

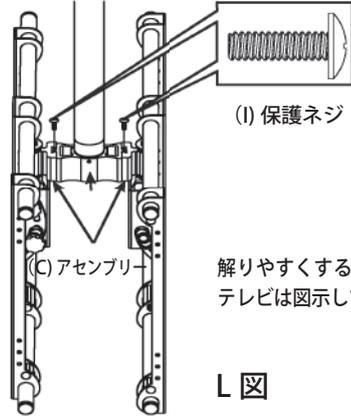
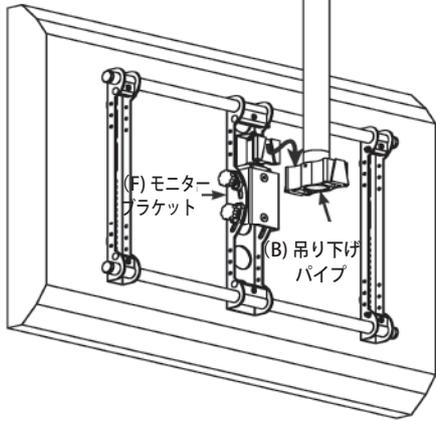


6 フラットテレビを吊り下げパイプに取り付ける

注意：フラットテレビの取り付けは、けがや財産の損傷防止の為、2人以上で行って下さい。

- フラットテレビを持ち上げて、K図のように、背面に取り付けたアセンブリー (C) にある台形状のテーパ部を、吊り下げパイプ (B) の下端にある台形状のテーパ部に、上から被せる要領でスライドさせて取り付けます。
- 次に、L図のように、保護ネジ (I) を図示する位置にしっかりとねじ込みます。

K 図



(I) 保護ネジ

解りやすくする為にフラットテレビは図示していません。

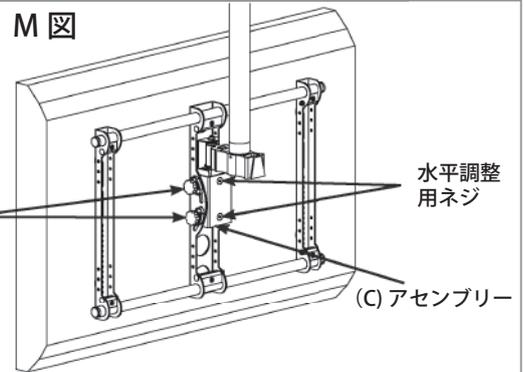
L 図

7 ティルト及び水平調整について

- ティルト調整は、アセンブリー (C) に取り付けてあるつまみを一旦緩めてから、希望する上下の視野拡張性をして後に、このつまみを再度締め付けます。
- 水平調整は、アセンブリー (C) に取り付けている2コのネジを、3/16 六角レンチ (N) で一旦緩めて、左右傾きの水平調整をしてから、再度このネジを締め付けます。

ティルト調整つまみ

M 図

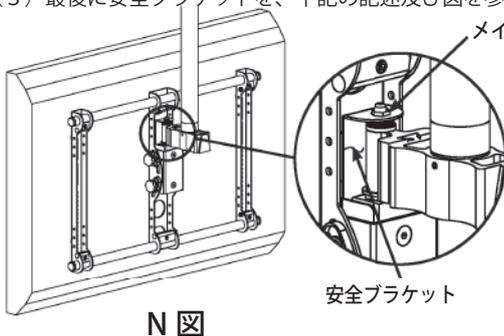


水平調整用ネジ

(C) アセンブリー

8 首振り調整とテンション調整について

- 首振り調整を始めるには、アセンブリーに取り付けてある安全ブラケットを、一旦上方向に持ち上げて取り外します。(N 図)
- 次に安全ブラケットを O 図のように、レンチ代わりにして、メイン保持ナットを少しだけ緩めたり、締め付けたりして、フラットテレビを左右方向に動かして首振りのテンションを調整をします。この時、ネジ山を切ったシャフトが、ナットの上部に見えなくてはなりません。メイン保持ナットの一面がテレビと平行になるようにこのナットを廻して微調整して下さい。
- 最後に安全ブラケットを、下記の記述及び図を参照しながら元通りの位置にきちっと取り付けして下さい。(P 図)

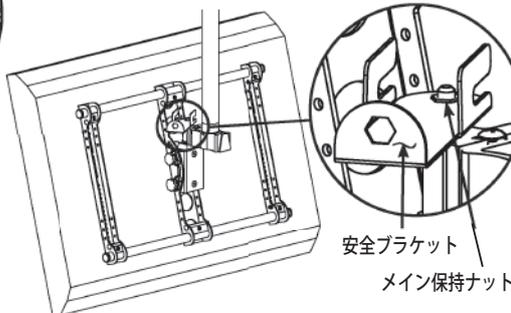


N 図

メイン保持ナット

安全ブラケット

O 図



安全ブラケット

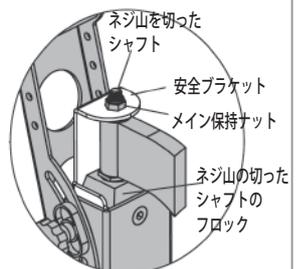
メイン保持ナット

注意

安全金具の上部に開いている六角形の穴は、下図の様にメイン保持ナットの周囲に沿ってぴったりと被さってなければなりません。メイン保持ナットを緩め過ぎてたりしてこのナットが脱落すると、テレビが壁面から落下し、怪我や財産損傷の恐れが発生します。

注意

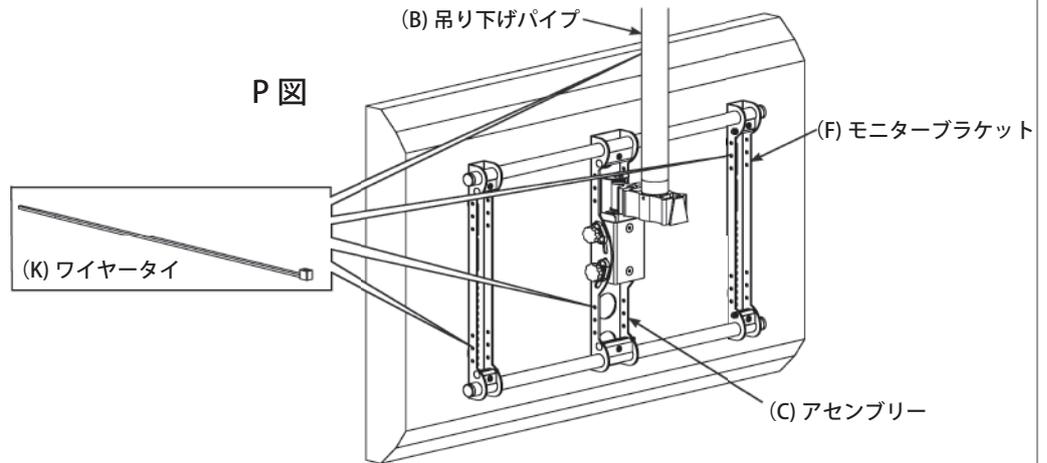
安全金具は、ご使用中にメイン保持ナットが緩み、テレビの脱落を防ぐための金具です。安全金具を有効にするためには、P 図のように安全金具の六角の穴にメイン保持ナットがきちっとはまって固定されている必要があります。もし、メイン保持ナットの角度により安全金具の六角の穴にうまくはまらないときは、適切なテンションの得られる範囲で微調整し、必ずメイン保持ナットの固定を行ってください。このとき、メイン保持ナットは 1/4 回転以内で調整してください。なおテンション調整しない時も、安全金具が X 図のように正しい位置に取り付いている事を確認して下さい。



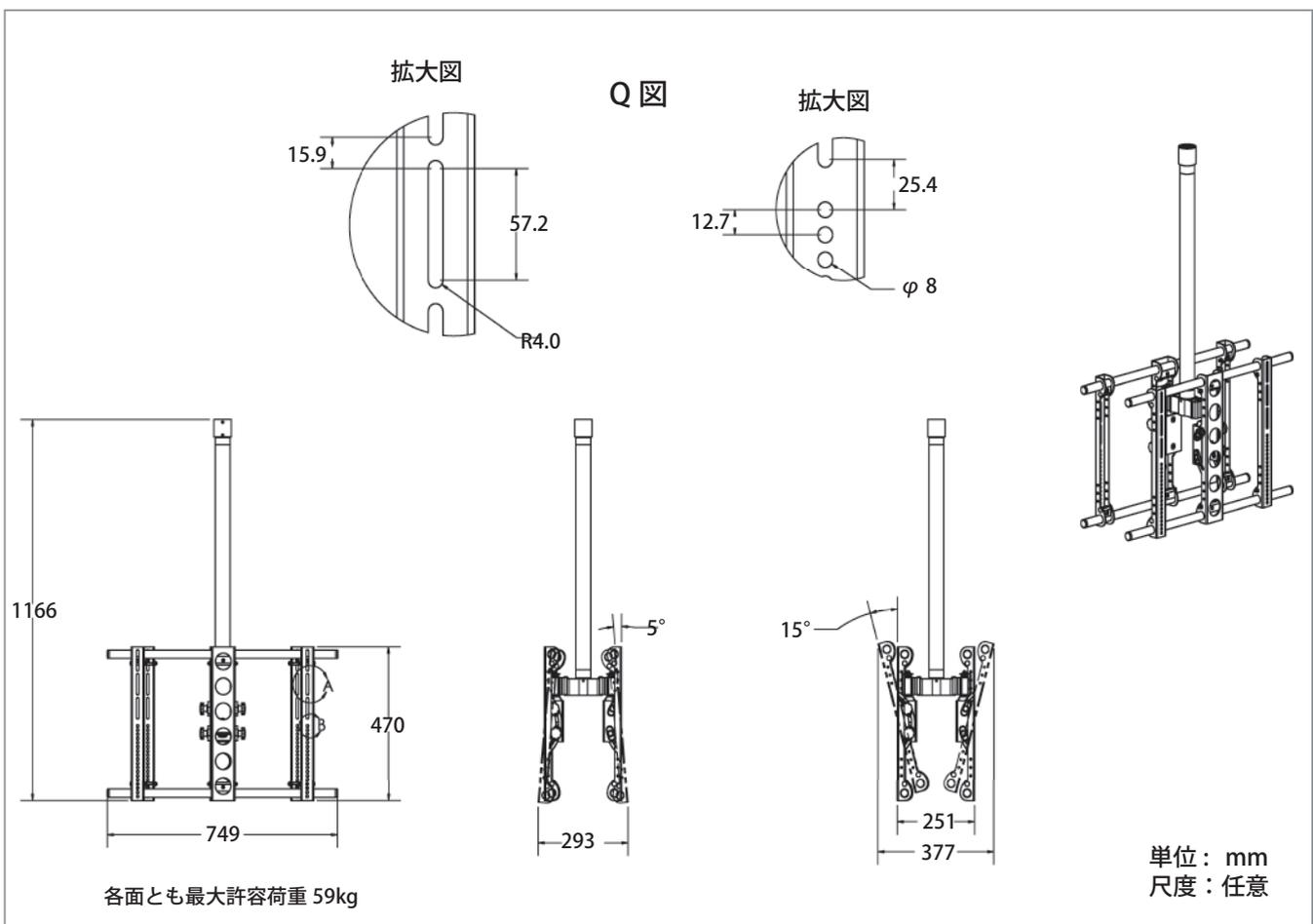
P 図 安全ブラケットを正しく装着した状態の図

9 ケーブル類の整理

- (1) 電源コードや各種ケーブル類の余分なたるみを取り去り、無理な力が、フラットテレビ内部のコネクター部に加わらないようにします。
- (2) P図のように、ワイヤータイ (K) を使って、モニターブラケット (F) や、アセンブリー (C) や、吊り下げパイプ (B) 等の適切な場所に、ケーブル類を固定します。



4. LC2A 外観図



Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ
 〒559-0031 大阪市住之江区南港東1丁目2-16
 ネットワークジャパン株式会社 TEL:06-6612-2008 FAX:06-6612-2050
<http://www.network-jpn.com/> E-mail: info@network-jpn.com